



ISO9001 認証取得

(ISO9001:2015&JISQ9001:2015)No.QA165292

品質管理のシステムを評価する
国際基準を取得済みです。



国土交通省NETIS^{※1}登録商品

NO.KT-160047-A

サーモブロックシリーズは、
公共工事等で使用可能になりました。



フォースター
F☆☆☆☆^{※2}取得

ホルムアルデヒドの発散量が最も
少ない、最上位規格を示します。

※1 公共事業が抱える課題に、民間企業で開発された新技術情報をインターネットで検索ができるシステム ※2 シックハウス症候群を引き起こす原因とされる有害物質「ホルムアルデヒド」の発散量を等級で表記。「F」はホルムアルデヒド、「☆」の数が多ほどより放散が少ないことを意味



夏は涼しく、冬は暖かい！優れた多機能塗料 サーモブロック



ISO9001 認証取得 (ISO9001:2015&JISQ9001:2015)No.QA165292

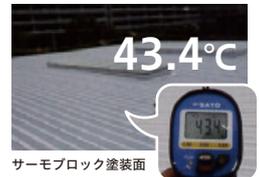
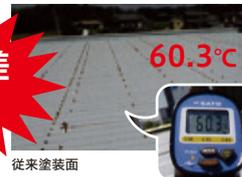
国土交通省NETISに新技術として登録 NO.KT-160047-A



1 遮熱・2 断熱・3 保温

塗るだけで、優れた機能を発揮する塗料

サーモブロックは、遮熱機能(熱を反射)、断熱機能(熱を遮断)にプラスして保温機能(輻射熱効果)があり、魔法瓶のような保温機能効果で、夏は涼しく、冬は暖かい室内温度を保持します。



一般塗料とは違うサーモブロックで、トータルでコスト削減と省エネを実現。

サーモブロックは、有害な材料を用いていません。主要原材料として特殊アクリル樹脂、特殊大型アクリル中空ビーズ、特殊酸化チタンを配合。塗布部分にサーマル(熱)バリアを作り、外部からの熱は遮断、内部の熱は封じ込めます。また、紫外線から部材変化を防ぎ、建物の劣化も低減します。取り扱いも通常の塗料と変わりません。また、冷暖房費を節約、省エネに貢献、CO2を削減が可能。その結果、地球温暖化防止に役立ち、地球環境を保持にも繋がります。

サーモブロックのメカニズム



塗膜 (サーモブロック)



アクリル中空ビーズ(110 μ m)間の塗膜空間率が世界一(体積比:50%)
110 μ mの中空ビーズ(弊社だけ)を採用。2回の塗布で必要な膜厚を施工でき、高い断熱性能を実現。



温度テスト (加熱ランプとコールドスプレーを使用)



他社製品との比較 (特殊大型アクリル中空ビーズ含有量)

他社製品

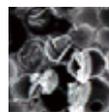
セラミック中空ビーズを約50%配合。



塗膜の伸びは
117%
割れやすい

サーモブロック

弊社オリジナルの110 μ mの特殊大型アクリル中空ビーズを約50%配合。



塗膜の伸びは
200%以上
割れにくい

サーモブロックの主な特徴



高断熱

塗膜空間率が最大
遮熱機能と断熱機能



保温機能

夏は涼しく、冬は暖かい
特殊大型アクリル中空ビーズとアクリル樹脂の輻射熱効果



高伸縮性

防水材に近い性能
200%以上の伸縮率により、建物のクラックやひび割れ防止



高耐久

促進対候試験3,000時間クリア
15年以上の実使用が可能、建物を保護し、劣化を防止



高粘着

JIS規格の3倍以上
強力な粘着力で、少ない塗料で広範囲に塗ることが可能



防水機能

透水性ゼロ、透湿性あり
湿気は通しつつ、水漏れ、雨漏り防止対策に効果



結露抑制

蓄熱輻射効果
特殊大型アクリル中空ビーズの保温効果で結露の発生を抑制



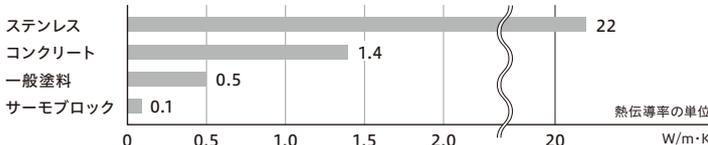
防音効果

約10デシベルの防音効果
特殊大型アクリル中空ビーズの消音効果で屋根・壁からの音、雨音などを軽減

従来型の塗料と比較、1/5の低熱伝導率を実現



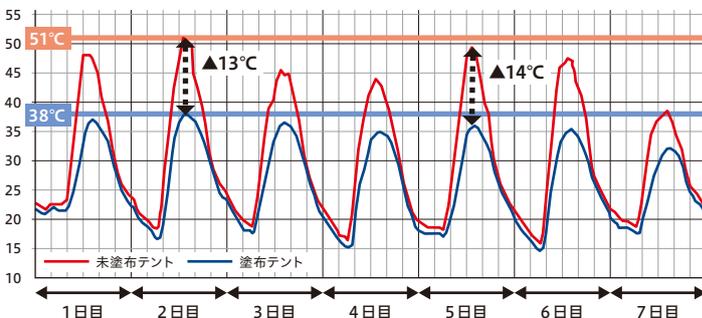
熱伝導率 W/m·K (断熱・保温したい場合、熱伝導率の低い材料を使用)



ヨルダン国連難民キャンプテントで-14°C差を実証



気温差の比較 (未塗布テントと塗布テント)



製造元、製品紹介、施工事例などの詳しい情報はここから確認できます。
<https://www.tbvh.co.jp/>

こちらから
アクセス!



サーモブロックシリーズ ラインナップ

下塗材 サーモベース	主材 サーモブロック	仕上材 サーモトップ
屋根材 サーモルーフ	屋根材 サーモカラー	内壁材 サーモインテリア

販売代理店 詳細はこちらへ

【施工/取り扱いの注意事項】※気温または塗装下地温度が5°C以下、湿度85%以上の条件下での塗装は避けてください。※天候の悪化、特に降雨が予想される場合は塗装は避けてください。※塗料の保管は直射日光の当たらない40°C以下の場所で保管してください。※絶対に凍結させないでください。不良の原因になります。※開封した缶はできる限り一度で使い切ってください。使い切れなかった場合は、塗料が空気に触れないよう密閉してください。また、できるだけ早く使用してください。この場合、再攪拌してください。※基本塗装要領、温度条件、道具類の洗浄は一般水性塗料と同じです。※本書の内容は、2022年8月現在のものであり、製品の仕様・価格ならびに工事の諸条件などは予告なく変更される場合があります。※写真は実際のものとは色や細部が異なる場合があります。予めご了承ください。※記載事項および写真の著作権は、JF環境企画に帰属します。無断転載を禁止します。